



公開日：2020年9月16日

アジア: Convid-19の経済的影響により、地域全体の衣料品労働者に対する現代奴隷制の脅威が高まる

### 【概要】

「コロナウィルスがアジアの衣料品労働者に現代奴隷制の脅威を煽る」2020年9月4日

アジアの製造拠点における現代奴隷制のリスクは急増しており、新型コロナウイルスの経済的影響、労働権侵害の増加、法執行の不備により、さらに悪化する傾向にある、というグローバル指標が金曜日にしめされました。

インドとバングラディッシュが初めて「極度にリスクがある」カテゴリーに分類され、奴隷労働のリスクがもっとも高い32か国のグループに中国とミャンマーが加わりました…

CONVID-19のパンデミックにより店舗が閉鎖され、注文がキャンセルされたことにより、3月から5月にかけて世界のファッションブランドを提供する衣料品労働者は、最大58億ドルの賃金を失った、と Clean Clothes Campaign（縫製業界で最大の労働組合と非政府組織の同盟）圧力団体は先月、述べました。

…解雇された労働者は搾取的な仕事に転向する可能性が高い、あるいは、失った収入を補填するために子供を働かせるかもしれない、と業界の専門家は言います。

「同じ仕事でも、条件はより搾取的になった」インダストリアルグローバルユニオンの南アジア地域記者である Apoorva Kaiwar 氏は述べています…

出張制限と COVID-19 の広がりを減らすための措置により、企業が監査を実施してサプライチェーンの倫理的な作業慣行を確認することが困難になっていることを、企業がリスクを特定するのを助けることを目的とする slavery index（奴隷制指数）はさし示しています。

[もっと読む](#)

CAUX  
Round  
Table